

第4回米俵積出王決定戦開催要項

1 趣旨

今年で28回目を迎える「玉名大俵まつり」は、米俵の積込みで使われていた高瀬船着場に残る通称「俵ころがし」にちなみ、また、古代より二千年続く菊池川流域の米文化を継承し、五穀豊穡を願うまつりとして11月23日(土・祝)に開催します。

また、まつりに先立ちまして11月17日(日)に「米俵積出の式」を開催し、高瀬船着場跡において、当時の米の積出を再現します。

この「米俵積出の式」において、かつて担がれていた俵 60 kgを持ち運ぶイベントを開催します。「米俵積出の式」で予選会を行い、11月23日(土・祝)の玉名大俵まつりにおいて決勝戦を行います。

2 日時

予選会:令和6年11月17日(日)9時30分受付 ※時間厳守・雨天中止

決勝戦:令和6年11月23日(土・祝)9時受付 ※時間厳守・荒天中止

※地震・大雨など主催者の責によらない理由で大会を中止する場合、基本的に参加費の返金は致しません。

3 場所

予選会:高瀬船着場跡(玉名市永徳寺414-34)

決勝戦:玉名大俵まつりメインステージ前(玉名市役所一般駐車場:玉名市岩崎163)

4 募集内容

1 募集人数: 積出王の部25名、積出女王の部25組(2名1組)
(先着受付、定員になりしだい終了。)

2 募集条件: 高校生以上

積出王の部は、1名で俵60kgを持ち上げることができること。

積出女王の部は、2名で俵60kgを持ち上げることができること。

共通して、コルセット・ギプス等の補助器具は着用しないこと。ただし、希望者には軍手を配布する。

11月17日(日)、11月23日(土・祝)両日参加できること。

大会参加者の映像・写真や氏名・記録などの個人情報について、使用权及び掲載権は主催者に属する。

5 参加費

500円(各部門)

6 勝利条件・ルール

積出王の部

【ルール】

- 胸より上まで担ぎ上げ、何度下に落としても失格にはならないが、最後まで俵を持ち運びゴールすることが条件(俵をころがすことは禁止とする)。
- 予選会5レース(1レース5名)、決勝戦はセミファイナル2レース、ファイナル1レースの3レ

ース。各予選レースの1着と全レースのタイム上位4名が11月23日(土・祝)開催の決勝レースに進出する。

- 雨天時は予選会中止。23日(土・祝)に特別ルールにおいて予選会を実施する。

【予選会】

- 予選会は11月17日(日)に行う。
- 地面に置いてある俵60kgをスタートの合図で胸より上に担ぎ上げ、一番早く片道10メートルを運んだ者が勝者となる。
- 各レース1着と、それ以外の20名の中でタイムが早い上位4名が決勝戦進出となる。

【決勝戦】

- 決勝戦は11月23日(土・祝)に、予選会の各レース1着5名と全レースのタイム上位4名と第3回大会優勝者の計10名で行う。セミファイナルとして1レース5名の2レースを行い、各レースの2着まで計4名がファイナルのレースに進出する。
- 決勝戦で行うレースでは、下に置いてある俵60kgをスタートの合図で胸より上に担ぎ上げ、一番早く片道15メートルを運び、1番最初にゴールで俵を両手で頭上まで持ち上げた者が勝者。

積出女王の部

【ルール】

- 俵を2名で持ち上げ、何度下に落としても失格にはならないが、最後まで俵を持ち運びゴールすることが条件(俵をころがすことは禁止とする)。
- 予選会5レース(2名1組×5組)、決勝戦はセミファイナル2レース、ファイナル1レースの3レース。各予選レースの1着と全レースのタイム上位5組が11月23日(土・祝)開催の決勝レースに進出する。
- 雨天時は予選会中止。23日(土・祝)に特別ルールにおいて予選会を実施する。

【予選会】

- 予選会は11月17日(日)に行う。
- 地面に置いてある俵60kgをスタートの合図を受け2名で持ち上げ、一番早く片道10メートルを運んだ者が勝者となる。
- 各レース1着と、それ以外の20組の中でタイムが早い上位4組が決勝戦進出となる。

【決勝戦】

- 決勝戦は11月23日(土・祝)に、予選会の各レース1着5組と全レースのタイム上位4組と第3回大会優勝者の計10組で行う。
セミファイナルとして1レース5組の2レースを行い、各レースの2着まで計4組がファイナルのレースに進出する。
- 決勝戦で行うレースでは、下に置いてある俵60kgをスタートの合図で持ち上げ、一番早く片道15メートルを運び、ゴールテープを1番最初に切った者が勝者。

7 賞金

優勝:賞金 3 万円(各部門)

優勝特典:次年度の予選会免除